

日本工業大学 第5回 研究オープンフォーラム

障害者支援に対する工学の可能性を探る

開催日 : 平成30年10月18日(木) 15:00 ~ 17:10
会場 : 日本工業大学LCセンター 1階マルチメディア教室

趣旨 : 工学は障害者を支援する上で欠かせないものとなっている。しかし障害の個別性や多様性は、企業が積極的に取り組むことを難しくしている。
本学では、これまで特別支援教育のためのアプリや機器開発を行っている。昨年度からは情報技術系高校と連携した取り組みも始まっている。本フォーラムでは、これらの成果を報告し、障害者教育や支援を行うエキスパートの方々から助言をいただき、工学による障害者支援の取り組みをさらに拡げる契機としたい。



徳井 亜加根 先生

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科修了。修士(スポーツ科学)。株式会社小豆澤整形器製作所(義肢装具士)等の勤務を経て、現職(教官、義肢装具士)。専門分野: 義肢装具
研究テーマ: 走行用義足の安全な使用方法、義肢装具を用いたウェアラブル計測、頸髄損傷者に対する上肢装具の開発



塩田 琴美 先生

首都大学東京大学院保健科学研究科修了。博士(保健科学)、理学療法士。都内病院のリハビリテーション科に勤務、その後徳寺大学健康科学部理学療法学科助教、早稲田大学スポーツ科学学術院講師を経て、現職。埼玉県庁教育委員会特別支援課(外部専門家)、国立障害者リハビリテーションセンター学院非常勤講師、早稲田大学グローバルエデュケーションセンター非常勤講師、特定非営利法人アスリートヘルスマネジメント理事など、スポーツ、教育、医療・福祉分野の多領域で活動を行っている。

プログラム

- 開会挨拶 日本工業大学 学長 成田 健一
- 15:05-15:15
特別支援教育を支援する取り組みの紹介
日本工業大学
先進工学部情報メディア工学科 教授 糸野 文洋
先進工学部ロボティクス学科 准教授 榎橋 康博
- 15:15-15:30
越谷西特別支援学校・越谷総合技術高校・日本工業大学の連携の取り組み
埼玉県立越谷総合技術高等学校
情報技術科教諭 河村 瞳 氏
- 15:30-15:50
義肢装具を用いた運動計測システムの開発(基調講演)
国立障害者リハビリテーションセンター学院
義肢装具学科教官 徳井 亜加根 氏
- 15:50-16:10
異分野融合による革新的な研究へ(基調講演)
一般社団法人こみゆスポ研究所
所長、理学療法士 塩田 琴美 氏
- 16:10-16:30
テクノロジーで今まで世界になかった『できた』を創造する(基調講演)
埼玉県立越谷西特別支援学校
教諭 自立活動専任 高久 聖也 氏
- 16:30-17:00 パネルディスカッション
「工学による障害者支援の可能性」
(パネリスト)
徳井 亜加根 氏、塩田 琴美 氏、高久 聖也 氏、河村 瞳 氏、本学教員
- 閉会挨拶 日本工業大学 教育研究推進室長 神 雅彦



高久 聖也 先生

立正大学社会福祉学部社会福祉学科卒業。和光養護学校(肢体不自由)。三郷特別支援学校(知的障害)を経て、現職(教知的障害)。専門分野: 特別支援教育
研究テーマ: 知的障害・発達障害の児童生徒への教育、ICTを活用した授業作り、外部専門家との連携。



河村 瞳 先生

帝京大学理工学部情報科学科卒業。平成15年4月に埼玉県公立学校教員(高校・工業)として採用、県立三郷工業技術高等学校情報技術科に着任。平成23年4月現任校に着任、平成28年度に日本工業大学情報工学科で長期研修を実施。平成29年度に復帰、現在に至る。

参加申込 : 学外の方は、以下①②のいずれかにより、お名前、連絡先電話番号をご記入のうえ、本学教育研究推進室へお申込みください。

①電子メール(メールアドレス: kyoken@nit.ac.jp) ② F A X (FAX: 0480-33-7713)

申込み・

問合せ先 : 日本工業大学 教育研究推進室 〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
TEL: 0480-33-7712(直通) FAX: 0480-33-7713(直通)

※お申し込みいただきました皆様のご個人情報は、当フォーラムにかかる業務のためのみに使用いたします。「学校法人日本工業大学 個人情報保護基本規程」(<https://www.nit.ac.jp/privacy/kitei.html>)に基づき、適正な管理をおこないます。